

政策提案する議会への変革を阻む嵐山町議会は危機的です。

議会のことを議員が決定するので、議員に都合のよい仕組みをつくりがちです。

議会が、週1回夕方からの開催、土日の開催になると勤務している人も立候補できます。議会が平日の日中開催では、事業者・農業者・主婦・年金生活者などしか立候補できません。いろいろな人が立候補でき、様々な立場で政策立案できるような議会に変革したいものですね。



	町民	議員〔17人〕
雇用されている人	4414人〔83%〕	
自営・会社経営・農業	952人〔17%〕	12人〔議員総数の70%〕
平均年齢	43.9歳	59.4歳
女性	9840人〔50・5%〕	4人〔23・5%〕
男性	9639人〔49・5%〕	13人〔76・5%〕

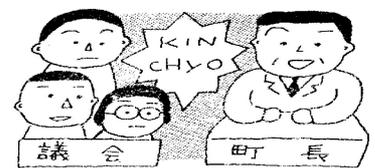
町民の数値はH17国勢調査から 議員の数値は本年6月15日現在

皆さんは、町が議員の親や子・兄弟姉妹等と仕事上の契約を結んだ場合、どう感じますか。

- ✖ 修正動議で、議員と同一の生計を営む以外の親族は、町と仕事上の契約をしてもよいことにしました。議員は、みなさんより早めに情報を知ることができます。行政から細かい情報を聞くこともできます。談合がおきる理由は、公共事業が事業者にとって安定した収益になるからです。グローバル化経済・大企業しか儲からない時代なので、中小企業は苦しい経営を強いられています。だからこそ、議員の一定範囲の親族は生計が異なっても、町と仕事上の契約を辞退してほしいのです。最近の他市町村の政治倫理条例は、議員の2親等以内の親族(本人と配偶者の各々の父母・祖父母・子・孫・兄弟)の契約辞退も規定されるようになってきています。

議員は町補助金交付団体の代表を辞退してください。

議員は町全体を代表し、さまざまな皆さんの声を反映します。議会は、町の補助金交付が適正か否かを評価します。



議員は、他の議員が何をしているのか知らないことがあります。

- ✖ 1昨年、町重要団体〔町補助金を高額交付〕代表である議員を議会は監査委員に選びました。
- ✖ 議員の町の重要団体の代表就任が議会に報告されてなく知らなかったのです。
- ✖ 監査は補助金団体も対象です。監査委員が補助金申請し、その適正さを監査するでは???
- ✖ 修正動議の提案者である安藤議員は、「議員は奉仕するつもりで、各種団体の代表や役員を積極的に務めるべきである」とその理由を述べました。議会は、新旧さまざまな団体への町補助金の効果、既得権か否か、適正か否かを評価する責任があります。議員は補助金団体の一会員として活動し、代表は住民の方をお願いして下さい。

議員は町補助金団体との契約を辞退してください。

団体によっては補助金額も大きく、1億円を越す補助金もあります。事業額も高額のものもあります。区集会所建設にも町補助金が交付されます。

- ✖ 議員が町補助金団体の仕事を請負うのでは、町・議会の公正さが疑われます。



税金の納付状況を報告して、議員を律する必要はないのですか？

- ✖ 修正動議は、議員の税の完納・未納の議長報告を削りました。なぜ削るのか理由がわかりません。情報公開で全議員の報告書が公開されると、議員名非公開で完納・未納は、わかります。